

# 市営武

(現チームの) 練習試合を終える

今年も(現チームの)計画していたすべての練習試合を終えることができました。ご協力ありがとうございました。ほんの少し前のような気がします(2年以上経ちました)、現3年生が入部してきた頃のことを思い出します。技術的な面・・・本当にへたくそでした(入部当初行なった市営球場での実戦形式練習、覚えていますか?誰もストライクが入らず練習になりませんでしたよね=これはチームにならない・・・そう思ったのをよく覚えています)。そんな選手達で埼玉県のシードを獲得することができました。大きく成長してくれたのだと思います。

野球が上手くなる、あるいはチームが強くなる、そんなことよりいつか部員達に分かっていただきたいこと・・・それは、自分の活動が周囲の支えによって成り立っていたことへの感謝です。君達は毎週行われている試合等の結果(個人成績・チームの勝ち負け)に一喜一憂していましたが、そもそも試合が組まれていることを当たり前だと思っていませんか?すべての相手校と連絡をとる(日程を組む)、(市高のグラウンドは野球部とサッカー部が同時に試合をしないというルールになっています)そのすべての試合場所をサッカー部と調整する(審判等の依頼連絡もすべて行う)、また、試合は生徒達だけではできません(すべての試合、ほぼほぼボランティアのような形で誰かしら大人がその試合時間を共に過ごす・・・)。

当たり前と思われていることを当たり前に行うのは簡単なようで結構大変です(試合でも私生活でも)。年間のその仕事を終えた今、私がホッとしているのを分かっていたら・・・

さあ、堂々と戦いの場に立ちましょう!

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8 . 7 . 6

発行ナンバー 1 2 8 3 号

指導者とは・・・

(野球における技術指導という点で)「指導者」という立場の難しさを感じています。(昔のように)投げ方や打ち方というのはこうだと全部員に同じフォームを強制させるようなやり方は間違っていますよね?考えてみれば昔のこのやり方、これは皆同じフォームのロボットを作ろうとしていたのでしょうか?また、その求めていた投げ方や打ち方は本当に正しいものだったのでしょうか?今考えると少々恐ろしいです。

私は原則、投げ方や打ち方を強制的に変えることはしません(それは本人が本人の考えで決めるものです)。これまで他校におけるそのような指導で、個性的で良さのあったフォームを完全に見失ってしまったケースを数多くみているからです。熱心に「指導」すればするほどイップスのようなことが起きる・・・そんな風に思っています。違うでしょうか?

今、心がけているのは大会前の調整方法を伝えることです(これはここでは書けません。極秘です・笑)。それでさえ、こんな感じのやり方があるぞと話し、その(アドバイスの)取捨選択は選手達に任せられています。大事なものは、他人に変えられるのではなく、自分(の意志)で変えることなのだと思います。手取り足取り教える指導者が「熱心で良い指導者」でしょうか?絶対に違います。私はその選手に良い変化が生じているかを根気強くチェックしている(見守っている)感じの指導者が「熱心な良い指導者」だと思っています。

市高野球部がどのような指導方針のもと活動しているかを随時発信していこうと考えています。これから受験生になる皆さん、その辺を理解していただいた上で入部希望をしていただければ幸いです。

よろしく願い致します。